



よしなが り み こ
吉永 理巳子 さん

1951年 ^{みなまたしみょうじん う} 水俣市明神に生まれる。
1997年 ^{がつ みなまたびょうしりょうかん かた ベ} 10月から水俣病資料館「語り部」となる。
2011年 ^{かんきょう にんてい} 環境マイスターに認定。
現在は、^{げんざい} 語り部として活動のほか、^{いっばんしゃだんほうじん} 一般社団法人水俣病を語り継ぐ会」の代表
を務め、^{つと みなまたびょう つた かつどう おこな} 水俣病を伝える活動を行っている。

^{みなまたしみょうじんちやうざいじやう}
水俣市明神町 在住

^{わたし みょうじん う そだ} 私は明神で生まれ育ちました。^{そふ りやうし あみもと} 祖父は漁師の網元でした。^{みなまたわん おも} 水俣湾で主にカタクチイワシを獲
ていました。^{とうじ みょうじん けん いえ} 当時、明神には4件しか家がなく、^{はたけ やさい つく りやう で さかな と} みんな畑で野菜を作り、^{さかな た} 漁に出て魚を獲ってきた
魚を食べる、^{じきゆうじそく ゆた せいかつ} 自給自足の豊かな生活をしていました。

^{わたし かぞく そふ ぼ りやうしん きやうだい にん にんかぞく} 私の家族は、祖父母、両親、兄妹4人の8人家族でした。^{ちち こうじやう つと はは} 父はチツソ工場に勤め、母は18歳で
お嫁にきました。^{わたし いえ ねこ か} 私の家では猫を飼っていたのですが、^{ひへん ごえ な} ある日変な声で鳴くようになり、^み 見てみると
よだれを垂らし、ぐるぐる回って、^{た まわ} とてもおかしい様子でした。^{ようす} すると突然家の下の海に落ちてしま
い、^{かえ} 帰ってくることはありませんでした。^{わたし す} 私の住んでいた地域での奇病の始まりだったように思い
ます。^{きんじよ す わか ひと くる な} そうこうすると、近所に住む若い人が狂って亡くなっていきました。^{にんげん} ついに人間にもきたので
す。

^{わたし いえ さいしよ はつびやう} 私の家で最初に発病したのは、^{つと} チツソに勤めていた父でした。^{ちち さかな だいす} 父は魚が大好きで、^{しごと お} 仕事が終われ
ば魚を獲りに行き、^{さかな と い} さしみにしてお弁当にも持っていくほどでした。^{ちち しょうじやう で ふぞく} 父は症状が出て、チツソ附属
病院に入院をしました。^{びやういん にゆういん} 入院中は魚をほとんど食べなかったからか、^{にゆういんちやう さかな た} 自転車に乗れるほど元気
になり退院をしました。^{たいいん}

しかし、この退院がいけませんでした。^{たいいんご} 退院後は、^{えいよう} 栄養をつけるために魚をたくさん食べたので
す。^{たいいん ねんご こんど} 退院をして2年後、今度はひどい症状が表れ入院をしました。^{しょうじやう あらわ にゆういん} しかしその20日後、父は亡く
なりました。^{さい} 38歳でした。

^{ちち な} 父が亡くなった1か月後、^{げつご りやうし} 漁師だった祖父が発病しました。^{そふ はつびやう} 祖父の症状は父とは違い、^{そふ しょうじやう} 全く体
を動かすことができず、^{ちが まった からだ} 9年間寝たきりの末亡くなりました。^{うご} 私はその間、^{わたし} 家に友達を呼ぶことがで
きませんでした。^{ともだち よ} 友達を呼べば寝たきりの祖父のことを見られる…^み 水俣病患者が家族に
いることを誰にも知られたくなかったのです。^{わたし} 私も、^{ともだち} 友達も、^{みなまたびやう} みんな水俣病のことは話しませんでした。

^{わたし みなまたびやう} 私は水俣病なんか早くなくなってしまう方がいいと思っておりましたが、^{おも} もやい直し事業が始ま
ったとき、^{わたし} 私は初めて水俣病に関する本を読み、^{みなまたびやう} 水俣病についての正確な事実を知りました。^{ちち} 父や
祖父は無念であったろう、^{そふ わねん} そう思わずにいられませんでした。

^{みなまたびやう} 水俣病のことを語るのに、^{かた} 40年以上もかかりました。^{だま} 黙っている間に大切なものが次々と失
われてしまいました。^{うわさ しん} 「噂を信じず、疑問に思ったら自分できちんと確かめること。」^{たし} それが、^{みなまたびやう} 水俣病
が教えてくれたことだと思えます。